

【認知症の症状とケアの流れ】

		認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
ご本人の様子		●物の忘れが見られるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立。	●買い物や金銭管理等にミスは見られるが、日常生活はほぼ自立。 ●新しいことがなかなか覚えられない。 ●料理の準備や手順を考える等、状況判断が必要な行為が難しくなる。	●服薬管理ができない。 ●電話の対応や訪問者の対応等がひとりでは難しい。 ●たびたび道に迷う。 ●買い物等今までできたことにミスが目立つ。	●着替えや食事、トイレがうまくできない。 ●財布を盗られたと言い出す(物盗られ妄想)。 ●自宅が分からなくなった。 ●時間・日時・季節がわからなくなる。	●ほぼ寝たきりで意思疎通が困難。 ●言葉でのコミュニケーションが難しくなる。 ●声かけや介護を拒む。 ●飲み込みが悪くなり食事の介助が必要。
認知症の人を支援する支援体制等	総合相談	①地域包括支援センターに相談しましょう(P8) ②認知症ケア専門士に相談しましょう(P8)				
	地域	③予防のための集いや教室等に積極的に参加しましょう(P8)				
		④検診を受けて早期発見に努めましょう(P9)				
		⑤認知症サポーター養成講座を受講して、認知症について学びましょう(P9)				
	⑥民生委員の訪問による見守りを活用しましょう(P9) ⑦もし行方不明になってしまったら、SOSネットワークを活用しましょう(P9) ⑧徘徊高齢者の見守り支援を活用しましょう(P9) ⑨介護者の交流会に参加したり、認知症カフェを活用しましょう(P9)					
医療	⑩かかりつけ医やかかりつけ薬局に相談しましょう(P10) ⑪物忘れ外来や認知症疾患医療センター等の専門病院を受診しましょう(P10) ⑫認知症の症状が強く出現した場合は精神科病床や認知症病床がある病院に入院することも可能です(P10)					
介護	◎介護保険等のサービスを利用しましょう(P10~13) ⑬介護保険サービスを利用するには本人の介護度等の条件がありますので、利用を希望する場合はケアマネジャーに相談しましょう <b>【介護保険で利用できる主なサービス】</b> ⑭ホームヘルパーによる訪問介護 ⑮看護師による訪問看護やリハビリの先生による訪問リハビリテーション ⑯⑰施設に通って介護やリハビリを受けるデイサービスやデイケア ⑱一時的に施設に宿泊することができるショートステイ <b>【介護保険で入所ができる主な施設】</b> ⑲施設で介護を受けながら生活ができる特別養護老人ホーム ⑳専門スタッフの支援を受けながら少人数で共同生活を送るグループホーム ㉑医学的管理のもとで長期的な療養や介護が受けられる介護療養型医療施設 <b>【介護保険外で利用できる主なサービス】</b> ㉒介護保険非該当の方への家事支援を行う軽度生活支援事業 ㉓食事を定期的に届ける配食サービス ㉔病院までの送迎を行う移送サービス ㉕緊急ボタンのある電話を設置する緊急通報システム ㉖災害時の避難を手伝ってもらう避難行動要支援者支援制度 ㉗財産管理や身上監護のための成年後見制度・日常生活自立支援事業					



状況や体制により在宅生活に戻ることにも可能です

